

第1回山北町民パークゴルフ大会が開催されました

10月26日(日)に、記念すべき第1回山北町民パークゴルフ大会が開催されました。晴れ渡る青空の中、75名の参加者は歓声を上げながら大いに盛り上がりました。

男性の部では、スコア50(Par66)で並んだ小瀬達雄氏(平山)とのプレーオフを制した杉本君雄氏(皆瀬川)が、女性の部では笠原八重子氏(向原)がそれぞれ優勝し、盛大に表彰式が行われました。

次年度の大会ではより多くの町民の方の参加をお願いします。



教育重点施策紹介シリーズ3「食育指導の充実」



<ある日の給食>

食生活の多様化が進む中で、子どもたちが「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を身につけ、将来にわたって健康に生活していけるよう、各学校では「食育」に関する取り組みを工夫していきます。

現在、町立各小・中学校では「食育」を進めています。

その一環として、今年度から「町立小・中学校統一のお弁当の日」を年に3回設けました。お弁当の日に向けて、各学校では、各自がお弁当の設計図を作ったり、献立を考えたり、アンケートをとったりするなどの取り組みをしています。また、栄養教諭・栄養士による「栄養についての講話」(朝ごはんの大切さ・バランスよく食べること)等を実施・計画している学校もあります。

食生活の多様化が進む中で、子どもたちが「食の自己管理能力」や「望ましい

平成26年度全国学力・学習状況調査結果

4月22日(火)に、全国の小学校6年生及び中学校3年生の全児童・生徒を対象に学力・学習状況調査が実施されました。

この調査では、学力の特定の一部ではありますが、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析することを目的に、教科に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の2種類が行われました。

【教科に関する調査】

小・中学校ともに国語と算数・数学の2教科で、A「知識」に関する問題とB「活用」に関する問題が行われました。

【小学生】

国語に関しては、立場を明確にして質問や意見を述べることについては良好な結果がみられた半面、漢字を正しく読んだり書いたりすることや詩の表現の工夫や解釈の着眼点の違いを捉えたりすることに課題がありました。A「知識」及びB「活用」は、県公立学校の平均正答率と同程度でした。

算数に関しては、四則の混合した式の意味の理解や、減法と乗法の混合した整数の計算については、良好な結果でした。しかし、分数の計算や図形の見取図・面のつながりや位置関係等の理解、公倍数に着目して数量の関係を記述すること、繰り返し出現する事象から規則性を読み取ること等について課題がみられました。A「知識」は、県公立学校の平均正答率と同程度でしたが、B「活用」は、やや低い状況がみられました。



【中学生】

国語については、文脈に即して正しく漢字を書くことや、登場人物の心情や行動に注意して読むことについては良好な結果でした。しかし、必要に応じて質問し足りない情報を聞き出すことや表現の技法の理解、語句の意味を理解して文脈の中で適切に使うこと等に課題がみられました。A「知識」及びB「活用」は、県公立学校の平均正答率と同程度でした。

数学については、絶対値の意味の理解や正の数と負の数を実生活と結びつけて理解することについては良好な結果でした。しかし、グラフと表を関連づけて反比例を理解すること、一次関数の変化の割合を理解すること、事柄が成り立たない理由を説明すること等に課題がありました。A「知識」及びB「活用」は、県公立学校の平均正答率よりやや低い状況が見られました。

【児童・生徒質問紙調査】

小・中学校ともに、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問が74項目で行われました。

【小学生】

約96%の児童が朝食を「ほぼ毎日食べている」状況であり、規則正しい生活を心がけている様子が見られました。平日にテレビやビデオ・DVDを見たり、テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしたり、携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間は、県平均と比べやや高い状況です。学校では、みんなで協力してやり遂げることに多くの児童がうれしさを感じており、地域や社会で起こっている問題や出来事に高い関心を持っている様子でした。さらに、「学校のきまりを守る」ことや「いじめはいけないことだ」という意識を持って生活しています。

【中学生】

朝食を「ほぼ毎日食べている」生徒は約83%であり、起床・就寝時間が一定である生徒の割合は県平均と比べてやや低い状況でした。平日に3時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする生徒は約32%おり、県平均に比べやや高い状況がみられました。また、平日の学習時間（学校以外）が30分より少ない生徒は約25%います。規則を守ることや、失敗を恐れない気持ちに関しては、県平均に対してやや低い様子でしたが、地域の行事に進んで参加する姿勢がうかがえました。

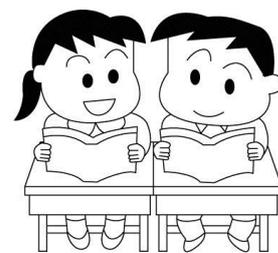
【全体的に】

課題としては、小・中学生ともに授業に対して意欲を持って取り組む姿勢が見られる反面、家庭学習の時間が少ない傾向にあることが挙げられます。小学生においては、昨年度に比べ無解答率が減少しており、あきらめずに解答を導き出す努力がみられました。中学生に関しては、生活リズムを整えていくことが課題です。

【今後の取り組み】

全国学力・学習状況調査の結果は各学校へ8月末に送られ、学校から児童・生徒に個人票を返すとともに、結果を分析した指導に努めています。

これらの結果から、話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることのできるような授業づくりをするとともに、家庭との連携のもと、宿題や課題の提示を工夫するなどして学習習慣を確立するなど、自ら進んで学習に取り組む姿勢を育てていきます。そして、教育活動全体をとおして児童・生徒一人ひとりに自己有用感を持たせられるような指導に努め、よりよい学校づくりに努めていきます。



教育委員会の審議事項

平成26年（第9回～第10回、協議会）

○第9回（9月25日）

- ・山北町教育委員会委員長並びに同職務代理者の選出について

○第10回（10月16日）

- ・山北町立統合小学校検討委員会各検討部会の検討結果について

○協議会（9月25日）

- ・学校訪問について
- ・岸幼稚園改築工事進捗状況について
- ・第12回やまきた健康スポーツ大会について
- ・平成26年度わくわく自然教室 IN 中川について
- ・第1回山北町民パークゴルフ大会について
- ・平成26年度山北町民文化祭について

○協議会（10月16日）

- ・全国学力学習状況調査結果について
- ・平成26年度山北町人権講演会について
- ・岸幼稚園改修工事現地視察について

